

県広報

特集/ 県政、この1年

トピックス/ 脱スパイクタイや社会を
めざして

とやま



第6回世界テレビ映像祭に参加したハンガリーのアンドラス・ホーレさん
(県民会館国際会議場にて)

1990
No.263

12

なんぞいしす、かす、よ

富山県立大学学長 藤井澄二

昭和二十八年、私はフルブライト基金によって一年間アメリカのマサチューセッツ工科大学に客員として招かれました。当時はまだ外国旅行をすることはひじょうに困難な時代で、しかも日本はまだ戦後の経済的にたいへん苦しい状態にありました。食料は乏しく人々は少しでも多くの食べ物を求めていました。電気冷蔵庫などもほとんど普及しておらず、富裕な家庭で夏に氷冷蔵庫を使用する程度でした。また洗面所に温水と冷水の水栓のあるところでも、どちらの水栓を捻っても冷水しか出ないという有様でした。

船でシアトルに着いてその日に、ボストンに行くために大陸横断鉄道に乗りました。一夜明けて翌朝、車中の洗面所で顔を洗おうと思つてH(温水)の水栓を開いてみると熱湯が出てくるのです。そこでこんどはC(冷水)の水栓を開いて見るとこれもまた熱湯なのです。手が着けられないので困つてホーイに聞くと、氷結防止のために水の配管の外側に蒸気を通して暖めているのだから、冷水の水栓から湯をしばらく捨てていけば、そのうちに

冷水が出てくると教えてくれました。

ボストンに着いて宿舎でテレビを見ていたら、コマーシャルにやたらとカロリーの少ない食べ物や飲物の宣伝が出てくるのにびっくりしました。このマカロニやジュースは全く栄養がありませんというのがセールスポイントなのです。

先生の家に食事によばれてます気が付いたのは、外はひじょうに寒いのに家のなかは暖房でポカポカと暖かく、その家のなかで冷蔵庫を使っていることでした。食べ物などは屋外で貯蔵すればよいのとその時はつくづく思いました。

当時の日本から見れば、レストランのテーブルの上に砂糖が出たままになっていることも、手洗い所に拭き用の紙が備えられていることも全く驚異のことでありました。それから四十年近くたったいまの日本ではこれらのことは少しもびつくりするようなことではありません。しかし私の心の中ではこの思い出がいつも私になにかをささやいているような気がします。

ひと

アズとやま



魚を追い求めて774種!未来への遺産!

『原色日本海魚類図鑑』の著者津田武美さん

「タイは見栄えもよく長持ちするので、日本ではおめでたい魚として重宝がられています。中国では下の魚としてあまり好まれません。このように一つの魚をとって見ても、その名前の由来、各地域での呼ばれ方、嗜好、歴史的背景など様々な要素が含まれているので、大変おもしろくて、興味が尽きませんね。」このほど刊行された日本の魚類研究の集大成ともいえる『原色日本海魚類図鑑』の著者である津田武美さん。うるこの数から、ひれの微妙な位置まで正確に描写したというだけあって、見る者を圧倒するような迫力のある図鑑に仕上がっています。また、魚名の地方名を可能な限り記載し、語源や生態、魚の諺や民話・伝説、調理法やとり方で、誰もが興味を持てるように解説しており、楽しんで学べるよう工夫されています。

「どこでもできるものよりも、古里新湊でしかできないもの、郷土の味をいかにせるものをと、魚の研究を始めました。」五百以上の種類を誇る富山湾の代表的な漁港、新湊市に生まれ育った津田さん。四十年間の小、中学校教員生活の最後に、それまでの研究をまとめようと思いついて六年、日本海沿岸各地に何度も足を運んだそのバイタリティあふれる姿は、六十六歳という年齢を感じさせません。「感動する心を持って自分にもできそうなことを、計画的に継続して行うことが学問をする上では大切だと思います。従来は、記憶偏重主義と言うか、正確性重点主義と言えはいいの、ともかくおもしろ味に欠けていたように思います。これからは、楽しみながら学ぶという姿勢が大切ですね。その意味でこの図鑑が魚に興味を持っている人たちにとって、いくらかでも手助けになれば嬉しいですね。」漁師の人から学者まで、楽しんでみればと願っている津田さん。一つの大きな事を成し遂げた満足感が穏やかな表情に漂っていました。今後は海の研究を考えているとのこと、どんな成果があるのか楽しみです。





斬新なデザインを一堂に

第30回富山県デザイン展



県内のデザイナーから公募した作品を集めた第三十回富山県デザイン展が、十月二十六日から二十九日まで、高岡文化ホールで開催されました。

会場には、建築、インテリアディスプレイ、グラフィック、インダストリアル、クラフト、テキスト・ファッションの六部門計百七十四点の作品が展示されました。作品は生活に密着した斬新なものが多く、高岡の伝統工芸である銅器に未来感覚あふれるデザインを取り入れたものや、漆器や花瓶に暖かみのある流線形をもたせたものなど、デザイン立果を目指す富山県の新しい息吹を感じさせる作品が多数展示されました。

毎年このデザイン展の開催に合わせて選ばれているデザイン特別大賞（県知事賞）には、今回は高岡市の黒田昌吾さんの作品「梅皿」が選ばれました。繊細な光を放つうるし塗りの皿の数々に、訪れた人たちはしばし足を止め、その美しさに見入っていました。



いい汗 さわやか いきいき人生

第32回健康・体力づくり運動推進全国大会



▲鈴木大地さんを講師に「水泳教室」輪金メダリストの鈴木大地さんが講師として参加しました。世界一の水泳選手から直接アドバイスを受けるとあって、定員を大きく上回る約百五十人が参加し、会場は熱気に包まれていました。

「いい汗 さわやか いきいき人生」をテーマに第三十二回健康・体力づくり運動推進全国大会が十三、十四日の両日富山市で開催されました。

大会式典は十三日午後、富山市の県民会館ホールで開かれ、桜内義雄体力づくり国民会議議長をはじめ、県内外から体力づくり団体、関係者ら千二百人が参加しました。

開会式では、宗田勝博県副知事らのあいさつの後、健康・体力づくり推進に努めている全国の六十団体の表彰式が行われました。

このあと、作曲家の小林亜星さんが「私のシェイプアップ大作戦」と題して特別講演。続いて、ハンマー投げ日本記録保持者の室伏重信さんとソウルオリンピック女子柔道銅メダルの山口香さんを交えて、「スポーツといきいき人生」というテーマでシンポジウムが行われ、大いに会場を沸かせていました。

また、十四日には、雨が降りしきるあいにくの天気の中、県総合体育センターなど六会場で実践活動が行われ、約八千人が水泳やビーチバレーボールなど十四種目にチャレンジし、スポーツの秋を満喫しました。同センタープールで開かれた「いきいき水泳教室」には、ソウル五輪金メダリストの鈴木大地さんが講師として参加しました。世界一の水泳選手から直接アドバイスを受けるとあって、定員を大きく上回る約百五十人が参加し、会場は熱気に包まれていました。



魅力ある北陸の観光を目指して

北陸三県観光立県推進地方会議

◀ 瀬島龍三座長



▲ 歌手の石川さゆりさんも出席

北陸の広域観光について提言する「北陸三県観光立県推進地方会議」が、十月二十九日から三十一日の三日間の日程で行われました。この地方会議は、運輸省が提唱した「九〇年代観光振興行動計画（TAP'90）」に基づくもので、北陸では初めての開催となるものです。

二十九日に福井県、三十日に石川県で分科会等を行い、三十一日の午後から富山市で全体会議が開かれました。瀬島龍三座長（日本商工会議所特別顧問）のほか、角田J.R.西日本社長、歌手の石川さゆりさんら中央側委員と、中沖知事を始めとする地方側委員合わせて五十一名が出席。北陸三県の観光振興策について話し合いました。

滞在型観光拠点の整備、歴史・自然・文化を生かした施設の整備、広域観光ルートの整備などが提言されました。また、平成三年四月から七月までの期間、北陸三県を対象とする全国キャンペーンを実施することを決定し、閉会しました。



世界の熱い目、富山に集まる

“第6回世界テレビ映像祭”開催



選ばれました。表彰式のと、受賞作品の一般公開が行われ、観客は熱心に見入っていました。

海外の優れたテレビドラマやドキュメンタリー作品の制作者をはじめ、全国各放送局のテレビ関係者等が参加して、作品の上映、審査、討論を行う「第6回世界テレビ映像祭」が10月28日から30日までの3日間、富山県民会館国際会議場を主会場に開催されました。東京以外の地で開かれるのは、第3回の札幌に次いで二度目。

今年は「地球の時代——多様性と新しい潮流」をテーマに、秀作、力作が集められ、ドキュメンタリー部門では「東欧、ソ連特集」を組み、ソ連、チェコスロバキア、ブルガリアなどの激動の社会情勢を反映した作品が上映されました。

また今回は欧米の作品を対象としたTOYAMA PRIZEに加え、新たにアジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の作品を対象にしたAALA賞を創設、第三世界の新しい映像の発掘が行われました。

10月28・29日の両日は、県民会館国際会議場においてノミネート作品13か国15本の上映と全体討論会、30日には県教育文化会館で表彰式が行われました。

TOYAMA PRIZEには、グランプリ受賞のオランダの「別離」と旧東ドイツの「10月9日、ライプツヒにて」をはじめ五作品が、また、AALA賞には韓国「太平洋に漂える霊」など三作品が

県政、この一年

近年の急激な国際情勢の変化の中で、日本経済は堅実な動きを見せて、世界における日本の地位はますますその重要性を高めています。一方、国内に目を転じてみると、東京への一極集中がますます進み、土地問題をはじめとしてさまざまな弊害が生じています。こういった状況のもと、多極分散化を進めていくためには、それぞれの地域が交流を深め、互いに触発しながら、魅力的で個性豊かな地域づくりを進めていくことが大切です。

富山県では、この一年、二十一世紀への魅力ある「顔づくり」のために、多彩な特色のある事業を展開してきました。

富山県民総合計画の「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」の三つの施策の柱に沿って、この一年の動きを振り返ってみましょう。

明日を拓く人づくり

「健康づくり

「日本一の健康県」をめざした県民ヘルスプランに基づき、県民総ぐるみの健康づくりを展開しました。がん対策については、発がん要因の三十パーセントを占めるといわれる喫煙に重点をおいて、高校生等を対象にした「禁煙教室」や「喫煙と健康シンポジウム」を開くなど、各種啓発活動を推進してきました。また、心の健康づくりという観点から、精神保健センターに「こころの電話」を設置しました。さらに、和漢医薬の国際的な情報発信基地をめざして東洋医学センターの基本構想に取り組みとともに、富山の薬三百年記念事業や和漢薬に関する国際シンポジウムを開催しました。スポーツ・レクリエーションの振興については、生涯学習スポーツプランを推進し、特に二〇〇〇年国体の本県開催に向けて、「富山県競技力向上対策本部」を設け、競技力のレベルアップに取り組んできました。また、メイン会場の県総合運動公園の基本デザインを決定しました。

「社会福祉の充実

ボランティアグループに対する補助金の支給対象を昨年の五十グループから百グループに拡大するなど、ボランティア施策を一層充実させました。高齢者に対する施策としては、寝たきり痴呆防止推進会議」を設置するとともに、県立中央病院等に「老人性痴呆疾患センター」が開設されました。また、家庭奉仕員の数を昨年度の倍にし、在宅介護支援センターを設置するなど在宅介護に積極的に取り組んできました。この他、県立流杉老人ホームの改築をはじめ、特別養護老人ホームの整備、ショートステイやデイサービスを行うための施設整備を促進するなど、施設福祉の充実についても積極的に進めてきました。

「生涯学習の推進

富山国際大学、富山県立大学が相次いで開学するなど、高等教育機関の整備を一段と進めました。また、県立図書館と県民生涯学習カレッジでは、いつでも、どこでも、だれでも、なんでも学習できる体制づくりを推進するために、生涯学習情報提供ネットワークシステムがスタートしました。



▲富山県立大学入学式 4/16



▲流杉老人ホーム改築工事竣工 8/8



▲富山の薬300年記念事業 8/17



▲生涯学習情報提供ネットワークシステムスタート 10/6



▲第2回全国勤労者綱引大会 10/7



▲第5回全国選抜ゲートボール大会 5/26～27



主なできごと

'89年12月～'90年11月

月	日	できごと
12	1	ズームアップとやま写真展（3日）
12	2	とやま県繊維フェア（3日）
12	5	12月定例県議会（16日）
12	6	富山県博覧会準備委員会設立理事会、第一回理事会
12	15	富山食肉総合センター起工式
12	15	いきいき富山冬の旅観光キャンペーン（3月15日）
12	22	県営 Gondolas スキー場整備事業完成式
12	22	ジャパンエキスポ認定書の交付
12	22	県立大学設置認可書の交付
12	23	わたしたちの壁画'90オープニング（1月28日）
12	28	「雪美のひろば・スノーアートとやま'90」オープニング点灯式
12	28	中部日本スキー大会（30日）
12	28	'90富山の美術開会式（3月4日）
12	28	雪のファンタジーコンサート
12	28	富山県コンパス計画第9回ティーチイン
12	28	'90 Gondolas 雪の祭典
12	28	県立大学定礎式
12	28	北方領土返還要求運動街頭キャンペーン
12	28	2月定例県議会（3月23日）
12	28	海王丸入港歓迎式
12	28	富山計測展開会式
12	28	とやま文学賞受賞式
12	28	県立図書館まんがコーナーオープン
12	28	県庁前公園花時計始動式
12	28	観光振興ビジョン答申
12	28	快適な公共トイレシンポジウム
12	28	NHK連続テレビ小説「凧と」放送開始（9月29日）
12	28	富山国際大学入学式

文化の県づくり

全国アマチュア演劇研究会や各種芸術文化活動に対し助成するなど、芸術機会の増大や創作活動の支援に努めてきました。立山博物館については、四月に起工式を行い、平成三年秋の完成に向けて、本格的な建設を進めています。

若者と婦人の力を社会に

二十一世紀女性プランにもとづき、婦人の豊かな能力と情熱を地域社会づくりに生かすことができるよう、女性ネットワークセミナー等を開催しました。また、青年・婦人をドイツ・スペインへ派遣し、青年・婦人の見聞を広める施策を行いました。

魅力ある郷土づくり

快適な暮らしの実現

地域に根ざした環境保全活動の推進を図るため、環境保全相談室を開設しました。また、大規模開発が周辺環境に及ぼす影響などを事前にチェックする環境アセスメント制度が施行されました。

魅力ある地域づくり

帆船海王丸が富山新港北埠頭で一般公開されました。この海王丸の係留地となる富山新港西埋め立て地全体を、海のプラザ「日本海ミュージアム」として整備するための土地利用計画書を作成しました。ジャパンエキスポ富山'92については、三月にジャパンエキスポ協会を設立。七月には基本計画を決定する

など、平成四年七月の開催に向けて本格的な準備を進めました。

生活基盤の充実

消融雪型住宅の普及や高齢化社会に備えた住宅の調査研究、地域に適した木造住宅の開発・普及などにより、住みよい住宅づくりを推進しました。

総合交通体系の整備

年間搭乗客数が七十万人を突破し、手狭になった塔乗待合室、出発ロビーを拡張する富山空港ターミナルビルの増築工事が七月に完成しました。また、四月からコミューター航空の富山・名古屋週末特別便が就航し、空の交通が一層、充実しました。さらに、六月には能越自動車道の起工式が行われ、県西部と能登、三大都市圏を結ぶ高速道路ネットワークの第一歩を築きました。

国際化時代への対応

ブラジルサンパウロ州との友好県州締結五周年を記念して、サッカーコーチの招へいなどの各種記念事業を実施したほか、設立三十周年を迎えるブラジル富山県人会の記念行事へ参加するため、南米訪問団を派遣し、両県州の交流を一層深めました。また、オレゴンフェアを開催したり、職員の相互派遣を行うなど、アメリカオレゴン州との友好提携にも積極的に取り組ん



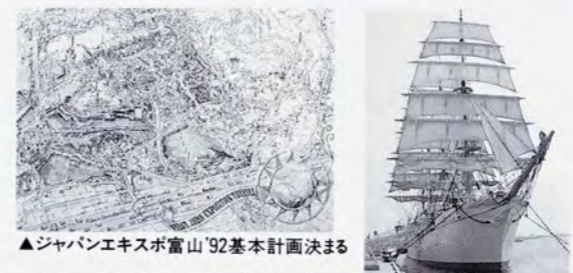
▲立山博物館起工式 4/26



▲永井一正展 9/1~10/7



▲女性ネットワークセミナー 7/7~8



▲ジャパンエキスポ富山'92基本計画決まる



▲帆船海王丸一般公開スタート 4/28



▲富山県植樹祭 5/10



▲富山空港ターミナルビル増築工事竣工 7/20



▲富山・名古屋週末特別便就航記念式 4/21



▲山県・サンパウロ州友好県州締結5周年記念事業 7/24~8/12



▲富山県・サンパウロ州友好県州締結5周年記念事業 7/24~8/12

9	8	7	6	5
7 6 4 1 30 27 24 18 17 10 8	4 28 25 24 22 20 13 11 9 7 6 4	23 21 18 12 7 5 2 1 31 26 25 19 14 11 10 9 28 27 26 25 21 20 16 15		
遼寧省友好代表団表敬 総合防災訓練 富山国際ボランティアセミナー	第1回土地問題懇話会 食肉検査所起工式 魅力ある地域づくり全国大会 永井一正展開会式 富山国際ボランティアセミナー	国際現代美術展開会式(8月26日) 国際連合講演会 女性ネットワークセミナー 消費生活センター20周年記念式典 知事のましまわり(滑川市) 産学官交流TOYAMAテクノフォーラム'90 とやま名誉大使称号授与式 富山空港ターミナルビル第II期増築工事竣工式 第7回富山県清掃美化大会 富山県・サンパウロ州友好県州締結5周年記念式典 知事のましまわり(立山町) 国際和漢診療学フォーラム富山開会式 タイムナルケア・フォーラム in TOYAMA 第4回有峰フェスティバル(5日) 県立流杉老人ホーム改築工事竣工式 '90子ども太陽祭オープニング(12日) 富山のくすり300年記念式典 立山旧登山道「八郎坂」開通記念イベント デザインウェブ'90富山(25日) 第11回北信越国民体育大会開会式(26日) '90ライブとやまティーチン(29日)	いいき富山観光キャンペーン'90オープニングセレモニー 富山県立大学入学式 知事のましまわり(大門町) 富山・名古屋週末特別便第一便就航記念式 帆船海王丸歓迎式 県立図書館電算機システム完成式 立山博物館起工式 花の万博「富山県の日」 帆船海王丸富山公開記念式典 「とやま賞」贈呈式 第41回富山県植樹祭 富山県農業総合研究所竣工記念式典 知事のましまわり(利賀村) 「消費者月間」記念富山県大会 写真によるドキュメントヤマ'90オープニング(6月24日) 第5回全国選抜ゲートボール大会(27日) 第39回全国ろうあ者大会(6月3日) 富山県立大学開学記念式 ノール平和賞受賞者ノーマン・E・ポロ博士来県 県展(8日) 環境保全相談室開所式 一日環境大学 第一回富山県ねたきり・痴呆防止推進会議 6月定例県議会 映画「少年時代」ロイヤル試写会 とやまトレッドフェア'90・オレゴンフェア開会式(24日) 能越自動車道起工式	

できました。

活力ある産業づくり

■技術立県をめざして

頭脳立地の基地として富山イノベーションパークが九月に着工しました。また、情報関連産業などの特定事業の人材育成や経営・技術交流などを行う富山県総合情報センターの着工準備を進めてきました。

■農林水産業の振興

農業者教育を推進する富山県農業総合研修所が五月に完成しました。また、日本一うまい富山米ブランドの確立のために総合的研究を進めるとともに、広く県民から新品種「富山27号」のネーミングを募集しました。

■工業の振興

富山インダストリアル・デザインセンターを充実したほか、デザインフェーブ'90 in 富山の開催など、県内企業のデザイン開発力を育成しました。また、富山県産業創造センターの建設を本格的に進めました。産業の振興を促進するため、とやまの葉三〇〇年記念事業に対して助成を行いました。

■第三次産業の振興

いつも人が集まるにぎやかな商店街にするために、アーケードや教養文化施設の整備に助成するコミュニティ施設整備事業を行いました。

イベントに関する産業の振興では、富山国際コンベンションビュローへの支援を強化するとともに、特産品の販路拡大の拠点となる施設についても調査研究を進めました。

また、観光の振興については、いきいき富山観光キャンペーンを引き続き実施するとともに、県民のゆとりある暮らしの実現と国内外観光客の増加を目的として、富山県観光振興ビジョンを策定しました。

■雇用の安定

Uターン促進のため、人材確保対策本部が中心となって、Uターン推進員などを設置して情報提供機能を強化しました。また、職業能力開発については、富山職業能力開発カレッジを完成させ、生涯職業能力開発体制の確立をより一層推進しました。

施策の実施のために

平成四年に迫った第一回ジャパンエキスポ富山'92を推進するために、博覧会推進局を設置したほか、臨海公園建設班、植物公園建設班を設けました。また、ほ場整備課を農村整備課へ改称しました。

県民に開かれた県政を推進するため、県政バス教室や、新聞、テレビなどを通じた広報活動を充実しました。また、NHK連続テレビ小説「凜々と」の全国放映、映画「少年時代」の全国上映、十月の第六回世界テレビ映像祭の開催、関東地区を対象にしたテレビ広報の実施など県内外で積極的なイメージアップ施策を展開しました。

「富山県コンパス計画」の一環として、九月に、全国地域づくり仕掛人会議が開催されました。また、県民参加型イベントシナリオコンペティション実施第一号として「万葉集全二十巻朗唱の会」が開催され、大盛況でした。



▲「花博」富山県の日 4/27



▲いきいき富山観光キャンペーン'90スタート 4/15



▲富山県農業総合研修所竣工 5/11



▲デザインウェーブ'90 in 富山 8/24~25



▲映画「少年時代」ロイヤル試写会 6/18



▲NHK連続テレビ小説「凜々と」放送開始 4/2~9/29



▲富山職業能力開発カレッジ完成



▲富山県発明とくふう展 9/20~23



▲産学官交流 TOYAMAテクノフォーラム'90 7/13

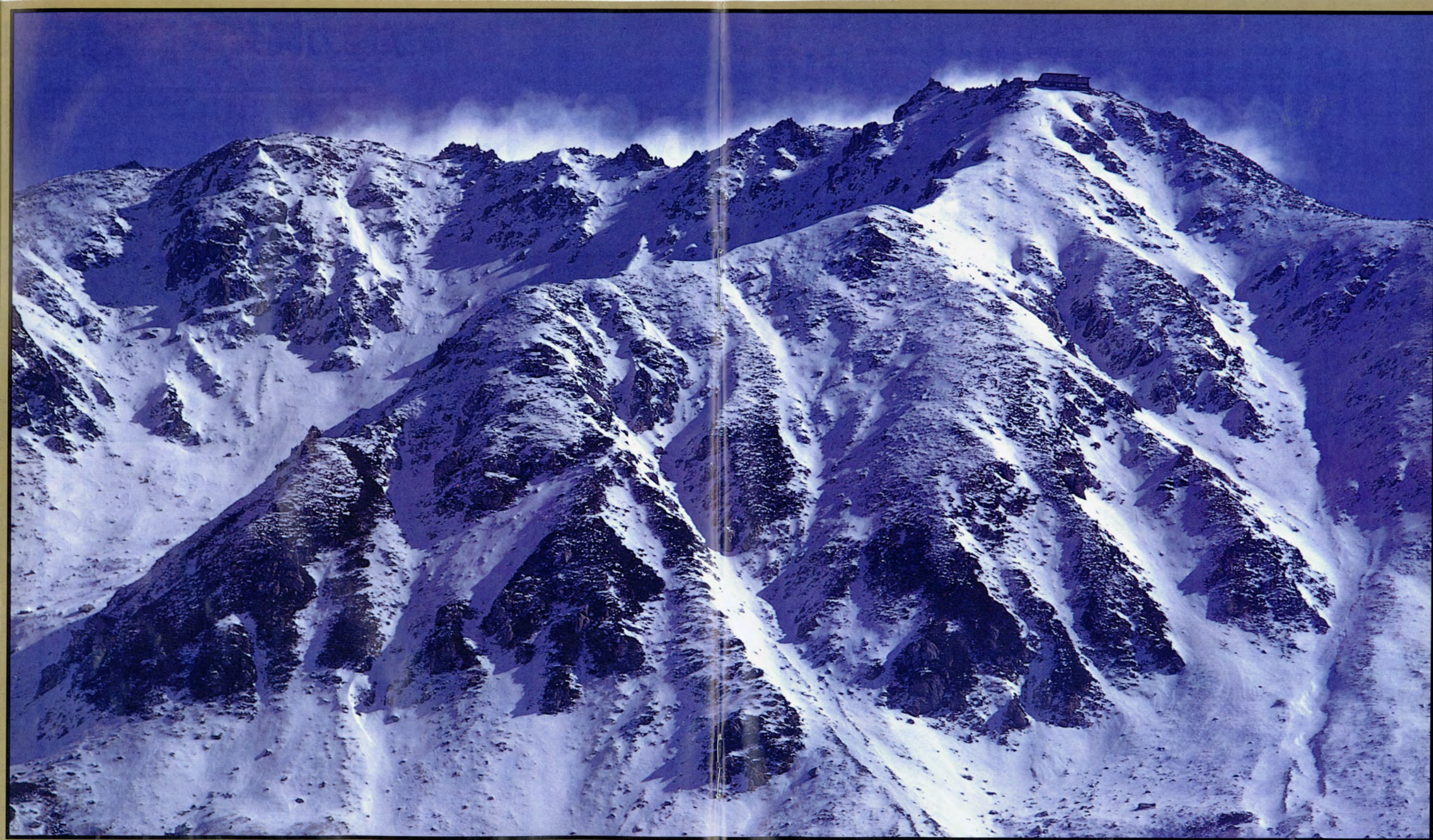


▲オレゴンフェア 6/21



▲第6回世界テレビ映像祭 10/28~30

30	26	22	20	17	8	7	6	5	2	1	31	28	26	25	20	13	8	7	6	5	4	1	29	26	20	14	12	
ム							会				計				大													
富山県立図書館創立50周年記念フォーラム	富山県競技力向上対策本部設立総会	全国アマチュア演劇研究大会(1/25日)	ゆとり創造シンポジウム	富山県職業能力開発フェア(1/18日)	朝日小川ダム竣工式	'90頭脳産業フォーラム in とやま	富山県総合開発審議会の新富山県民総合計画答申	富山県総合開発審議会の新富山県民総合計画答申	環日本海シンポジウム開催	一日部長辞令交付式	富山県総合開発審議会の新富山県民総合計画答申	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
富山県立図書館創立50周年記念フォーラム	富山県競技力向上対策本部設立総会	全国アマチュア演劇研究大会(1/25日)	ゆとり創造シンポジウム	富山県職業能力開発フェア(1/18日)	朝日小川ダム竣工式	'90頭脳産業フォーラム in とやま	富山県総合開発審議会の新富山県民総合計画答申	富山県総合開発審議会の新富山県民総合計画答申	環日本海シンポジウム開催	一日部長辞令交付式	富山県総合開発審議会の新富山県民総合計画答申	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い



風吹き 雪煙舞う 霊峰立山 凜としてそびえ 大地を見守る

撮影 / 松浦義一

PIN-UP TOYAMA

あなたの「やる気」を応援します。

レポーター：岡部ゆかり（ミス宇奈月温泉）

産業構造の高度化、生活様式の多様化にともなって、「仕事」というもののとらえ方も大きく変わろうとしています。「自分が習得した技術を生かしたい」という「やる気」を、企業が受け入れてくれるようになってきているのです。また一方で、就業を希望する主婦や高齢者が増えています。これらの方にして企業ニーズを知り、十分な準備を行い、それぞれの方向をしっかりと決めてから、スタートすることが大切です。

職業能力開発課は、そんなあなたの「やる気」を応援します。

今回は県庁の中にあります「職業能力開発課」におじゃましました。皆さんは課の名前を聞いただけで、どのような仕事をしているのかわかりますか？私には「開発課」という3文字がやけに堅苦しく感じられ、新しい職種でも研究・開発しているのかなと思いき、最初は構えて話を聞いていました。しかし私の想像していたとは異なり、主に現在働いている人々や、これから働こうとしている人々に対し、職業に就くための必要な知識や能力を習得させる施策の推進や、相談・援助などを行っている課だということを知りました。では実際には、どういふふうに職につきたいという人たちの要望に応えているのでしょうか。

女性のやる気を応援

婦人就業援助センター



▲婦人就業援助センター

そこです。女性の方を対象とした「婦人就業援助センター」に伺いました。既に働いている私には知る機会もなく、今回初めてこういった施設が県内に九つもある事を知りました。

今、世間では「女性も働く時代」といわれ、職場、地域社会における各種の活動に参加する女性も増加してきています。こちらの施設では「子育ても一段落し、再就職したい」と思っているけどどうしていいのかわからない...といった人や「家庭内ですら働けるのだけども」という女性の方々の就職・内職に関する相談や指導を行い、なおかつ条件に合った企業への再就職紹介までも、行っているのです。講習会は経理事務・ワープロ・和裁・広告美術など全十六コースもあり、受講者も三十代り六十代の方まで幅広く利用されているそうです。この日は病人介護の実習を見学させていただきました。高齢化の進んだ今日、家族に寝たきり老人がいるといった家庭も少なくないと思います。そのような老人の洗髪や寝具の取り替えなどの基本知識から実技までを、保健所の先生などを講師に迎えて行われていました。このセンターには、一ヶ月三百件程の問い合わせがあるそうです。講習会への参加希望者が定員をはるかに上回る事もよくあるそうで、女性の熱心さがうかがえます。今後、富山の女性の企業や社会への

ハイクラス時代の第一線を担い、エンジニアを養成 職業能力開発カレッジ

次に私は向新庄にある「富山職業能力開発カレッジ」を訪れました。まず最初に訪ねた「技術専門学院」は、高卒者を対象とした職業訓練施設で、まだ皆さんにはあまり知られていないかも知れません。なんと開校が昭和六十三年、まだピカピカなのです。モダンな本館と日本庭園とまではいきませんが、整えられた緑の

◀舟塚課長



というのが私の第一印象でした。この学院は「メカトロニクス科」「自動車整備科」



▲技術専門学院

「ファイブ」が学校？」



▲技術専門学院

技術や知識を身につける授業体制で、設備も整っており、受講生の個性も十分引き出せるのではないかと思います。例えば「自動車整備科」では廃車を利用して、各部品の構造や用途など実際に、自分の手で触ってみて授業を進めていました。在学中に資格が取れ、急速に



▲技術専門学院

な技術革新にも対応できるエンジニア達が養成されており、卒業後富山の企業での活躍

最後に私は「富山地域職業訓練センター」を訪れました。ここは現在、在職中の私達にも活用できる各種講習会が行われており、誰でも気軽に利用できるよう土曜・日曜も開かれています。自慢の視聴覚室は百五十人も収容でき、是非多くの県民に利用してほしいとのこと。皆さん、手に職をつけようと真剣に取り組んでいて、私も発破をかけられて帰ってきた次第です。

大変簡単に紹介してきましたが、「職業能力開発課」がどういう仕事をしているのか少しはおわかりになりましたか？人間として世の中に生まれてきた以上、皆働かなくては生きていけないのです。広い意味において、この課は雇用の安定、高齢化への対策など、私達にとって最も必要な事を行っているのです。これを機会に私もたくさんの方のことを考えさせられました。

「オフイスオートメーション科」「電子システム科」「建築設備科」の五つの科に別れており、どの科も卒業後、直ちに企業での第一戦で役立つような

卒者を対象とした「金属加工科」「インテリア工芸科」や、離・転職者を対象とした「エクステリア造園科」「配管科」がありました。先ほどあげた校庭も造園科の皆さんが勉強しながら作りあげたものなので



▲職業能力開発センター

ふるさと
みてある記

井波町

本影の町井波は、本願寺五代の緯如上人が建立した瑞泉寺の門前町として栄え、今年開町六百年を迎えた。また、井波彫刻の歴史も古く、十八世紀半ばの瑞泉寺再建に始まると言われている。現在、井波在住の彫刻師は約三百人。昭和五十年には、国の伝統的工芸品に指定され、彫刻産業として全国一の規模を誇っている。

「トン、トン、コツ、コツ……」たくさんの方が周りを囲む中、槌を打つ音が響く。十一月初

七福神も祝う開町六百年



▲井財天の制作風景

つ制作してきたもので、記念すべき開町六百年の今年、二体の制作で七福神七体が揃った。今は町のあちこちに散在するジャンボ七福神、将来は何か所に集めたいとか。

めの彫刻まつりでの「コマ」「弁財天」「毘沙門天」の制作風景である。この七福神一つひとつが高さ五メートル、直径一・二メートルもある。これらは彫刻組合の青年部が毎年一体ずつ制作してきたもので、記念すべき開町六百年の今年、二体の制作で七福神七体が揃った。今は町のあちこちに散在するジャンボ七福神、将来は何か所に集めたいとか。



▲井波町の入口、岩屋交差点に立つ布袋様

麻がらを

踏おる背戸の月見かな

浪化

八日町通りから井波美術館の横の路地へ入るとひっそりとしたたたずまいをみせる「黒髪庵」がある。この庵は、当地を訪れる俳人の宿として建てられた。北陸でただ一人芭蕉の弟子となつた瑞泉寺十一代住職浪化上人が、伊賀上野から芭蕉の遺髪を貰い受けて築いた塚があるため、黒髪庵の名がつけられた。

「浪化上人と黒髪庵は、井波俳壇の誇りです。」と話すのは、冒頭の句から名を取った「麻がら句会」会長の朝倉一夫さん。

麻がら句会は戦後すぐに結成された井波の俳句会で、現在会員約三十名。「俳句を始めたころ城端から棟方志功も井波の俳会へ来とったけれど、俳句はあまり得意じゃなかったみたいやね」と発会当初からのメンバー朝倉さん。俳句を始めたい動機は？と聞くと、「日本」



▲「麻がら句会」の朝倉さんと黒髪庵

井波町の概要

人口 11,195人(9月1日現在、県人口統計調査より)

面積 25.46km²

井波は越中の小京都と言われる町。家並み、石畳の道、そして町の中心に瑞泉寺が、歴史の年輪と風情を感じさせる。井波彫刻は200年余りの伝統を持ち、国の伝統的工芸品に指定されている。今年が開町600年を迎え、この記念すべき年を新しいスタートとして、町の活性化を図っている。



が戦争に負けた時、西洋かぶれになりたくなかったし、その反発心が日本の伝統的な俳句に向かわせたんだろうね。それに、短歌より俳句の



▲「麻がら句会」の月例会

方が短くて、性に合つたからね。」と笑う。十月には、開町六百年を記念して浪化忌俳句大会が行われ、千首近くの応募があり、たいへん盛況だったとか。「今後、瑞泉寺・黒髪庵・高瀬遺跡に投句箱を置いて、年一回投句集を作っていくたいね。俳句を通して少しでも町の活性化に協力できればうれしい。」と話す朝倉さん。

畑の数の子

「ほうきんの実を作り始めて十年くらいかね。辛いことも多かったけど、楽しいこともたくさんあったわ。」と話すのは、ほうきんの実栽培組合長の田中美智子さん。

ほうきんの実は、ヨーロッパ原産



▲ほうきんの実栽培組合長田中美智子さん

の一年生の草木・ホウキノキの果実。東北地方では「トンブリ」と称され、畑のキャビアといわれている。井波では「畑の数の子」。食べ方は、ゴマみそあえ、マヨネーズあえなどあえものが中心。「昔からこの家でも、田んぼの横に五本くらい作つたもんやわ。十一月の報恩講で、精進料理として使われてきたからね。でも最初特産品にする言うた時、ガンに効くとか、子供の頭が良くなるとか言わんと売れんと思つた



▲ほうきんの実

ま 売れて 一時間で や。その心配も農業祭で吹き飛んだ。一日分が 売れて



ある冬の生活

タイヤ社会をめざして

「スパイクタイヤ製造・販売の中止」という、積雪寒冷地域の道路交通にとって歴史的な決定をみた昭和63年6月の総理府公害等調整委員会の調停成立（タイヤメーカー七社は平成2年12月末限り販売を中止する）から2年。

スパイクタイヤ粉じんを防止しようとする法律（スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律）が成立したことにより、いよいよスパイクタイヤ問題は一つのピリオドを迎えることになりました。

健康も、良好な環境も、そして交通安全も……と、課題が多かったこのスパイクタイヤ問題が、今、地域住民と地方自治体を中心となった運動によって解決しようとしています。

時代はすでに、「脱スパイクタイヤ社会」のライフスタイルを定着させようとしているのです。

12月は
全国一斉の
脱スパイクタイヤ運動
推進月間
です。



今、変

脱スパイク

「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律」

（平成2年6月27日）

の概要

●スパイクタイヤの使用を、規制するなどして粉じんの発生をなくし、国民の健康と生活環境を守ることが法律の目的です。（法第1条）

●スパイクタイヤを使わない、売らないことを実践し、脱スパイクタイヤ社会の実現に向けて努力することがすべての国民の責務です。（法第3条）

●国民の取り組みを支援するために、国や地方公共団体も様々な施策を実施することになっています。（法第4条）

●環境庁長官は、住民の健康を保護し生活環境を保全することが特に必要な地域を指定地域として指定します。（法第5条）

●指定地域では、積雪、凍結の状態になり路面をスパイクタイヤで走行すると10万円以下の罰金が科せられます。（法第7条、第8条）

※法律では、あくまでスパイクタイヤの使用禁止が原則です。ですから、罰則適用のない非指定地域でも、あるいは積雪

凍結路でもスパイクタイヤを使わないことが基本です。
※スパイクタイヤ使用禁止は平成3年4月1日から、また、罰則は平成4年4月1日から施行されます。
※大型車については、当面、法律の公布から3年を超えない範囲で法第7条、第8条の適用を猶予することになっていますが、今冬からは、大型車用スタッドレスタイヤが本格的に販売されることになっていきますので、いずれ全ての車がスパイクタイヤを使わない時代が来ます。



スパイクタイヤを使わない 新しい車社会を つくるために

スパイクタイヤ公害問題は、単に雪国だけの問題ではありません。

自動車あらゆる生活の中へ入り込んでいる今日、仕事にレジャーにほとんど全国の道路を走りまわっています。です

から、この問題を解決するためには、全国的にスパイクタイヤを使わない車社会をつくる必要があります。

そして、私達自身が被害者であると同時に加害者でもあるという典型的な生活型公害であるスパイクタイヤ公害は、私達自身の決意と実践なしには解決できません。

そのためには、私たち一人ひとりが、車依存の暮らし方や車社会のあり方を含めて、もう一度冬のライフスタイルを見直してみることが求められているのです。次の世代にきれいな環境を伝えるためにも、脱スパイクタイヤ社会の実現に向けた新しい運動を始めていかなければなりません。

12月は、全国一斉の脱スパイクタイヤ運動推進月間です。
今冬から、スタッドレスタイヤを使用して、ノースパイク運動を進めていきましょう。



冬山遭難事故を防ごう



一、登山届の提出

入山時に登山口の駅、発電所、警察官派出所へ立ち寄り、登山計画書を提出して下さい。

なお、剣岳へ登山する場合は、富山県登山届出条例により、登山する日の二〇日前まで富山県自然保護課へ所定様式の登山届を提出して下さい。

二、余裕のある日程を計画、装備・食糧は十分な準備を

本県は豪雪地帯であり、一旦雪が降り始めると十日間も行動できない日があります。事前調査を徹底し余裕のある日程を計画し、装備・食糧は十分な準備を

まもなく冬山シーズンが到来し、厳冬の北アルプスをめざして多くの登山者が訪れます。深い雪の中をラッセルし、寒さや厳しい条件を克服しての登山は、格別にすばらしく感じられるものです。

しかし、昨シーズンの年末年始には、五パーティー、十七名が豪雪のため孤立し、大量遭難のさわざとなりました。幸い、冷静、沈着な判断や行動で全員無事救助されましたが、入山される時は、十分な準備と慎重な行動に心がけて下さい。

三、雪崩に注意

冬山では、毎年雪崩による大きな遭難事故が発生しています。積雪、降雪の状況や気温の変化などに注意して慎重に行動をしましょう。

四、緊急連絡手段

トランシーバー等を携帯するなど、緊急時の連絡手段を確保しておきましょう。また、付近のパーティーと交信を取り、互いに現在地を連絡し合いましょう。

五、ヤマタン

(山岳遭難者探索システム)を携帯しましょう

ヤマタンは、五百円硬貨大のペンダント式になっていますが、これを携帯することによって微力電波を常時発信しており、現在位置を知らせてくれるものです。

ヤマタンは、県警察本部外勤課、各方面遭難対策協議会、馬場島登山指導員詰所等に配置してありますので、お気軽にご利用して下さい。

平成2年 工業統計調査等の実施

通商産業省では、平成2年12月31日現在で製造業を営む事業所を対象として、平成2年工業統計調査、石油等消費構造統計調査を実施します。

工業統計調査は、事業所数、従業者数、製造品出荷額などを調査し、工業の実態を明らかにすることを目的としています。

また、石油等消費構造統計調査は、従業者30人以上の事業所を対象として、エネルギー消費の実態を明らかにすることを目的としています。なお、調査票の秘密は厳重に守られ、統計作成の目的以外には使用されません。

12月下旬に調査員が各事業所にお伺いしますので調査にご協力をお願いします。

この調査についてのお問い合わせは市町村統計主管課、または県統計課商工係(電話0764・31・4111 内線407)にご連絡ください。

よい子の育児電話相談

乳幼児をもつ親や育児に携る祖父母等の子育てについての悩みや不安を、専任相談員が聞き、共に考え、助言します。

●対象とする子ども 〇歳～5歳児
〈内容〉

しつけ、遊び、体や食べもの、くせ、兄弟姉妹との関係、その他

●電話番号

サア サア ヨイ コノ
(0764)33-4150

●開設日 毎週月～金曜日(休・祝日を除く)

●時間 10～17時(12～13時を除く)



交通事故相談所の利用

交通事故から生じるさまざまな問題の相談に応じるため、交通事故相談所を開設しています。

- 相談は無料、秘密は厳守します。
 - 県庁東別館一階の相談所のほか、県内七か所で巡回相談を実施しています。
 - 手紙や電話による相談も受け付けます。
 - 弁護士の助言も受けられます。
- (毎週木曜日午後1時から3時まで)
- 損害賠償額の算定、示談の進め方、保険金の請求方法、その他交通事故のことでお困りのことやわからないことは何でも、お気軽にご相談ください。



富山県交通事故相談所

県庁東別館一階 TEL (0764)31・4111 内線609・759

12月は
納税強調月間
です





今年の税金は
今年のうちに

年の瀬も迫ってきましたが、まだ県へ納め忘れの税金はありませんか。もし、ありましたら、お手元の納税通知書又は納付書をご持参のうえ、最寄りの金融機関又は県税事務所でお早目に納めてください。

なお、12月29日(土)から1月3日(木)までの間、県税事務所の窓口業務を休ませていただきます。年末に税金を納められる方は、金融機関をご利用ください。

県政の動き

平成2年10月11日～11月10日

- 10月11日 砺波細入線 井栗谷トンネル竣工式
婦人国際交流フェスティバル
- 10月13日 日ソ交流富山会議

- 10月17日 第32回健康・体力づくり運動推進全国大会
富山県高度情報通信ネットワーク整備事業着工記念式
全国道路利用者会議
- 10月19日 高年齢者雇用促進大会
- 10月20日 特産王国フェスティバル

- 10月25日 産業人能力開発フォーラム in とやま
- 10月26日 桃山・江戸時代の美術(～11月14日)
第30回富山県デザイン展(～29日)
- 10月28日 第8回富山県駅伝競争大会

- 10月31日 第6回世界テレビ映像祭(～30日)
北陸3県観光立県推進地方会議全体会議
いきいきとやま第3回健康と長寿の祭典(～11月1日)
- 11月1日 監視区域が富山市の市街化区域全域に拡大
富山県除雪対策協議会
- 11月2日 富山県功労表彰式

- 環日本海シンポジウム
- 11月5日 一日部長辞令交付式
- 11月6日 富山県総合開発審議会・総会
水産試験場50周年記念式典
- 11月7日 '90頭脳産業フォーラム in とやま
- 11月8日 朝日小川ダム竣工式
- 11月9日 流通国際化セミナー
- 11月10日 留学生と語るつどい

身体障害者向け県営住宅入居者募集

県営住宅根拠団地には身体障害者向け住宅が設置しており、県では入居者を募集しています。

- 戸数 二戸(車椅子利用者向け住宅と松葉杖利用者向け住宅が各一戸)
- 家賃 月額 三六、〇五〇円
- 入居資格・障害の程度が一～四級の者
- 第一種公営住宅収入基準(収入月額が一〇万円を超え一六万二千元以下)

身体障害者向け県営住宅入居者募集

の者

- 各種工夫された設備・緊急通報装置があり、身体障害者の方が安心して生活できるよう設計してあります。
- ▼問い合わせ先 県庁建築住宅課
☎0764・31・4111
内線668・669

平成3年1月街頭献血日程

日 曜	場 所	時 間
5 土	高岡駅前	10:00～15:30
7 月	砺波市役所前	10:00～15:30
10 木	新湊市役所前	10:00～15:30
13 日	富山市中央通り	10:00～16:00
15 火	富山西武前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
18 金	小矢部市役所前	10:00～15:30
19 土	富山西武前 魚津市サンプラザ前	10:00～16:00 10:00～15:30
20 日	富山西武前	10:00～16:00
21 月	福光町役場前	10:00～15:30
24 木	氷見市役所前	10:00～15:30
27 日	高岡駅前	10:00～15:30
28 月	福野町役場前	10:00～15:30

※富山県赤十字血液センター(富山市牛島本町)では、毎土曜日の午後も開所し(祝日除)、献血を受付けています。

監視区域の指定

十一月一日から地価の安定を図るため、富山市の市街化区域全域が「監視区域」に指定され、届出面積基準も、商業地域は二百平方メートル、商業地域以外は三百平方メートルに変更されました。

- 詳しくは左記にお問い合わせ下さい。
- 富山県県民生活課
☎0764・31・4111 内線756
 - 富山市都市計画課
☎0764・31・6111 内線520

企画展「古代人の儀礼」

埋蔵文化財センター展示室



県内の埋葬遺構や祭祀遺跡からの出土品、関連する資料を展示し、古代人の信仰について考えます。

- 期間 平成2年12月4日(火)から
平成3年6月1日(土)まで
- 休館日 第2・4土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12/28～1/4)
- 入場は無料
- ※詳しくは、富山県埋蔵文化財センター
☎0764・34・2814

みんなで防犯、明るい正月を!

年末年始の防犯

師走になると文字どおり、あわただしくなり、心も落ち着かず、すぎが生じやすくなります。一人ひとりが防犯に気を付けて、犯罪の被害者や、少年の非行を防止し、みんな揃って明るい新年を迎えましょう。

《ひったくり、スリの防止》

年末年始には、人ごみの中で大金を持ち歩く機会が多くなります。お金の入ったバッグ等は、体に抱えて持ち、自転車のかごやショッピングカートには置かないようにしましょう。

《自動車盗等の防止》

どんなに急いでいても、車から離れるときは必ずキーを抜き、ドアロックしましょう。また、自転車には鍵をかけましょう。

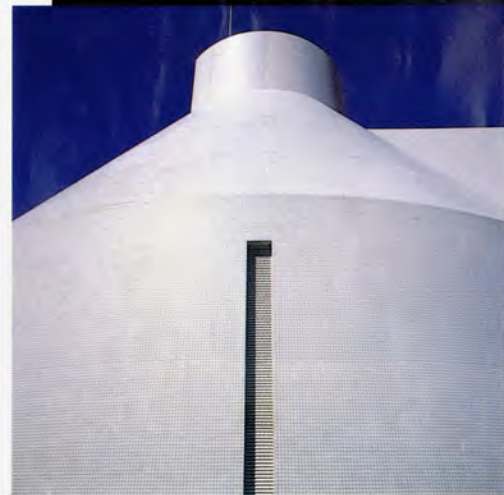
《少年の非行防止》

冬休みで、クリスマス、大晦日、正月と諸行事が続き、解放感でいっぱいです。どんなに忙しくても、子供には一声かけるようにしましょう。



アイデンティティ表現する近代工場

源新保工場 | 設計・永田・北野建築研究所
昭和62年、所在地／富山市南央町



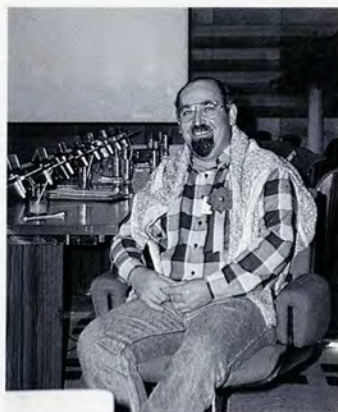
最近、コーポレーション・アイデンティティ、略してC-Iと言いうことがよく言われる。アイデンティティというのは訳し難い言葉であるが、要するに自分が自分であることの証明で、自己同一性と訳される。従ってC-Iとは企業がその企業であることのしるし、ということになる。つまり、現代では製品を売る為には、製品の質やイメージは勿論大切だが、それと同等にそれを作って売っている企業そのもののイメージも重要になって来た。ダサイ、よく知らない会社の製品には、現代の消費者は手を出したくない。そこで、C-I、すなわちその企業の特徴ある、そして好ましいイメージが確立され、一般に浸透されねばならないのである。そして、そのC-Iを形成する大きな要素

として、従来から「会社の顔」としてC-Iの中核だった本社社屋ばかりではなく、その企業の工場の建築のデザインが着目される様になって来たのである。この作品は富山名産の鱈の工場であるが、主力商品の生産施設であると同時にこの企業のC-Iの核となるべくデザインされ、それは見事に成功している。生産過程の実際を多くの人に公開し知って貰うことで、企業イメージの浸透と定着を計るアイデアで、この為、最初から多数の見学者の訪問を前提に入れて計画されていて、その為の空間、例えば見学者食堂の大空間や内部の庭園など全体が「見せる」為にデザインされている。外部に対しては、工場全体を直方体や円筒など幾何学的立体的コンポジションとして捉え、これと言って特徴のない単調な周囲の景観の中に、シャープな形態と純白の色をもって、明確、明快で清潔な視覚的主張を行っている。円筒と円錐を組み合わせた塔が工場全体のアクセントとなると同時に、そのアイデンティティを与えるシンボリックな役割を果たしている。

鱈寿し、と言えは手づくり食品で家内工業的イメージが先入観としてあるわけだが、それを逆手にとった先端工業的デザインが新しいC-Iを創造したのである。

解説／竺 覚暁（工学博士金沢工業大学教授）
写真／風間耕司（日本写真家協会会員）

表2	エッセイ／藤井澄二
P1	ひと／津田武美
P2	クロージング
	①健康体力づくり運動推進全国大会
	②第30回富山県デザイン展
	③第6回世界テレビ映像祭
	④観光立県推進会議
	特集／県政この一年
P6	PIN UP TOYAMA
P12	撮影／松浦義一
P14	県庁探訪／職業能力開発課
P16	ふるさとみてある記／井波町
P18	脱スパイクタイヤ
P20	県からのお知らせ



●表紙撮影／滝川邦彦（日本写真家協会会員）
第6回世界テレビ映像祭に出席されたハンガリーのアンドラス・ホーレさんはいへん気さくなナイスモデルで、こちらの無理な注文にも快く応じてくれました。つかの間の国際交流でしたが、ホーレさんの微笑みがとても印象的でした。

みなさんの相談窓口

県政については	
県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民電話)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411(代)
魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311(代)
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151(代)

消費生活については	
消費生活センター	富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 (一般相談は) ☎(0764)32-9233 (金融相談は) ☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所	高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777

交通事故については	
富山県交通事故相談所別館1階	☎(0764)31-4111内759
相談110番	
家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。	
☎(0764)42-0110	フルタイム
シルバー110番	
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内 ☎(0764)41-4110	

県からのホットニュース、見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV	RADIO	NEWS PAPER
テレビ広報 ●チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45 「志の輔・陽子のふるさとトーク」 ●北日本放送 毎週日曜日AM9:30~10:00 「こんにちは富山県です」 12/2 アマチュア劇団富山に集う 12/9 脱スパイクタイヤ 12/16 青年・婦人の翼 12/23 生涯スポーツを目指して 12/30 県政この一年 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「110万人のひろば〜クイズ/フォーカス・イン」	ラジオ広報 ●FMとやま 「ふれあいホットライン」 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。 毎週月〜金曜日 AM9:30~9:35	新聞広報 ●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

編集後記

★冬、十二月。僕にとっては一番好きな季節。濃いめのコーヒーを飲みながら、こぼれ落ちそうな満天の星空を見ていると、原稿締切に悩むつぼけな自分の存在も何もかも忘れてしまいたいそう!?(T)

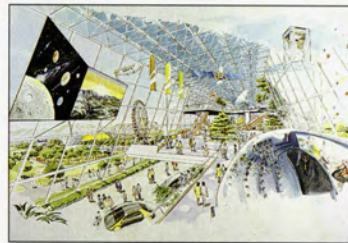
★「麻がら句会」の朝倉さんに黒髪庵へ案内してもらった。昔から井波へ来た俳人が宿泊所になっていた黒髪庵は、何となく高貴な雰囲気か漂っていた。そのムードに引き込まれ、思わず浪化上人を偲んで一句。「麻がらを……ああ麻がらを、麻がらを」
 ？？「麻がらに つるべとられて もらい水」？？ダメだこりや!!(Mi)

★七七四種の魚を一つひとつ実物を見ながら丹念に描いた新湊の津田武美さん。取材中も魚にまつわる苦勞話やエピソードなど、魚の話に花が咲いて時のたつのもすっかり忘れてしまいました。取材を終えて玄関を出るともうあたりは真っ暗。その夜夢の中でタイやヒラメやその他のいろいろな魚と海中遊泳。我ながら本当に単純というかメタ・タイというか。ともかく魚づくしの楽しい一日でした。(Mu)





人ってこんなに おもしろい!



FIRST JAPAN EXPOSITION IN TOYAMA '92 第1回ジャパンエキスポ富山'92

平成4年7月10日金—9月27日日 80日間 会場—県民公園太閤山ランド
主催—富山県/富山県市長会/富山県町村会/富山県商工会議所連合会/富山県商工会連合会 運営—富山ジャパンエキスポ協会